

## 「SNSを学ぶ」

近年のインターネット利用者層の若年化やLINEなどのSNSの登場によりネットというものがより便利に幅広い層が利用できるものになってきた。その一方で、便利であるはずのSNSに悩まされる学生が増えている。SNSのトラブルは様々で、特定の人物への誹謗中傷からなりすましや性犯罪、さらに殺害予告まで身に危険のある悪質なトラブルなどがある。それが原因で学校を不登校になってしまったり、最悪自ら命を絶ってしまうケースもある。それらのトラブルから今回は、SNSで行われる誹謗中傷がなぜ起きるのか、そういったトラブルの対策法について考えていきたい。

トラブルがどうして起きるのか、それを知るにはまずSNSでコミュニケーションをとることの危険性を知る必要がある。

今回はSNSの危険性を大まかに二つ取り上げる。

一つ目は、相手の感情や考えていることを文字でしか読み取れないので、つい言いすぎたり間違った伝わり方をしてしまうことだ。

私たちは、普段相手の顔や声などから相手の感情を読み取りながら会話を進めている。

それと会話の内容を照らし合わせることで、私たちは言葉に乗らない話の細かい部分を感じ取ることができる。

そう考えると、感情が分かる情報が極端に少ない状態でコミュニケーションをとることは難しいことだ。

私自身も、相手の感情が分からなかった故に相手の冗談が冗談と判断できなかったことがある。

二つ目は、匿名性があるようなSNSでは、自分が書き込んでいる自覚が持ちにくく発言に責任を持てなくなってしまうこと。

SNSは実名ではない匿名で投稿できてしまうため、自分が投稿しているという自覚を持ちにくい。

匿名であるから何を書いてもいい、何をしてもいいというわけじゃないのは当然だが。

自覚がなくなりそれが意識から抜けてしまうので、つい行き過ぎた発言をしてしまう恐れがある。

匿名で書き込めるのは安全だが、匿名性を盾に自分を隠して書き込めてしまうので匿名性はむしろデメリットの方が大きいのではないかと思う。

SNSの危険性はほかにもあるが、大まかにこの二つを今回は挙げた。

SNSでの誹謗中傷のターゲットにならないために、書き込む内容や場所に気を付ける以外個人でできる方法はほぼないといってもいいだろう。スマホで初めてインターネットというものに触れたという人は、そういう配慮をする能力はほぼないといってもいい。なぜなら、彼らが今まで触れたことのない世界であり、現実とは自身の言葉が発信される先のスケールも情報量も違うだからだ。

私はインターネットというものに初めて触れてから10年が経つ。10年間も触れていれば、たくさんのトラブルを見る側になる機会や起こす側になってしまいかねない経験は当然ある。

私が考えるトラブルの対策としては、インターネットやSNSに早いうちからたくさん触れておくことだ。

私は、2ちゃんねる(現:5ちゃんねるだがここでは2ちゃんねると表記する。)のような掲示板や

Twitterのような発信先のスケールが大きいSNSにもどんどん触れさせるべきと考えている。

そうすることでSNSでの情報の伝わり方、正しい発信の仕方も自然と学べてくる上

さらに炎上や特定というトラブルをリアルな形で知ることでもできるため、SNSというもの

の

使い方やトラブルを学ぶことができる。

未だに、2ちゃんねるのような掲示板はリスクが大きいのではと考える人もいるだろう。2ちゃんねるは禁止でTwitterなどのSNSはセーフな理由はもう通用しないと断言している。

昔の2ちゃんねるで起きていた炎上や特定、怪しいサイトへの誘導が、現在のTwitterなどのSNSで100%起きないと言えないようになってきている。

近年、Twitterでも誹謗中傷を受け名前や住所が特定されるケースはしばしば。

それほどインターネットのユーザーが増えている今、100%リスクのないSNSなどは存在しないといえる。

そう考えると、SNSを習うより慣れさせたほうがいいといえるのではないのだろうか。

家庭によっては、インターネットは高校からというルールを設けていることもある。

言動に責任が持てるような年頃になるまで待つのもいいが、それまでインターネットに触れてこなかった人間が実際SNSで上手にコミュニケーションをとれるかというところではないと思う。

そのため私は、インターネットやSNSに早いうちからたくさん触れておくことを強く奨める。

これらは、長いことインターネットを見てきた一利用者の意見でしかない。

先ほども述べたように、慣れている私でもトラブルになりかけることはある。それほどSNSというツールで会話することは、難しいことであり注意を十分払わなくてはいけないことでもある。

SNSの特性をある程度知っているだけで、防げるトラブルは十分にあるので

利用者は常にSNSについて使いながら学び、他の利用者がより安心して使えるように心がけておくことは誹謗中傷への対策にもなりSNSをより安全に使えるものへと変えていく方法だと私は考えている。